

年 組 名前：

山梨市一町田中地区の市消防団日川分団第5部（奥山忠彦部長）は5日、同地区の火の見やぐらに上った団員に向けて放水する伝統の出初め行事「水の洗礼」を行った。奥山部長ら3人に向けて地上の団員が勢いよくホースで放水。3人は「わっしょい、わっしょい」と声を枯らし、奥山部長ら3人に向けて地足踏みしながら約20分間水の

勢いと寒さに耐え続けた。掲げたくす玉が割れると、「火の用心」「交通安全」などと書かれた垂れ幕が現れた。

「水の洗礼」は水害が多かった同地区的団員に、水に対する恐怖心を克服してもらおうと、1917年（大正6年）に始まった。



QRコード
から動画を
見られます

〈山本就己〉

防災願い「水の洗礼」 山梨市で出初め



「水の洗礼」を受ける消防団員
=山梨市一町田中

(2026年1月6日付 山梨日日新聞16面)

問1 伝統の「水の洗礼」の放水で割れたくす玉からは、なんと書かれた垂れ幕が現れましたか。

・

問2 消防団の奥山部長は、なにを願いながら「水の洗礼」を受けましたか。

・

問3 山梨市一町田中地区で「水の洗礼」を始めた理由を答えてください。

・